

レジュメ原稿様式

「ノーマライゼーションの考え方を支援に定着させるために」

○発表者名	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	中原	輝房
共同研究者名	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	渡邊	裕介
	社会福祉法人	祥和会	セルプひの	宮本	楓雅

### 1. 問題提起

これまで当事業所では支援というよりも「一緒に作業をする仲間」として利用者さんと関わっていた。その結果、近年利用者さんの高齢化・多様化に伴う支援が必要となってきたが、必要となる支援の知識や技術が不十分なように感じる場面が多々見受けられる。

そのため当事業所では、まず支援に対する知識・技術の獲得が必要なのではないかという課題が出てきた。

### 2. 目的

障がい者支援をしてくなかで基本となるノーマライゼーションの考え方を職員が意識し、当事業所職員がどの利用者さんに対しても、十分な支援を提供できるようになることを目的とする。

### 3. 方法

- ノーマライゼーションについて勉強をする。
- お互いに学んだことを職員間で共有し、今後の支援でどのように活用していくのかを話し合う。
- 実際にノーマライゼーションを意識した支援を実施する。
- 実施した結果をチームで振り返り、支援をブラッシュアップする。

### 4. 成果

- 利用者の出来ることを増やすことにより、本人の生活の幅が広がった。
- 新たにできる事が増えたことで、利用者本人の自信に繋がった。
- 利用者全員ではないが個性や障がい特性を理解し、支援につなげられることができた。
- 職員側の視点が変わったことにより、利用者の新たな強みを発見することができた。

### 5. 課題

- 徐々にノーマライゼーションの考え方が職員のなかに浸透しつつあるが、まだ職場全体にまでは行きわたっていない。
- 今後もノーマライゼーションの考え方を意識した支援が提供できるように、職場全体で研鑽していく必要がある。
- 上手くいった事例でもさらに振り返りを重ねていく。

記入例

「テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

○発表者名           社福) 鳥取県社会福祉協議会   福祉人材センター   鳥取 花子  
 共同研究者名   社福) ■■■■■会   ●●●●園                   鳥取 太郎  
                          ■■■■大学   ●●●●学部   .....専攻           鳥取 次郎

文末表現…だ・である調

1. 問題提起

※研究テーマを取り上げた理由やその背景などをまとめてください。

例) ○○事業所では、.....といった現状があり、.....といった取り組みを行ってきた。しかし、取り組みを行うなかで.....といった課題が明らかになってきた。

2. 目的

※研究・実践で明らかにしたいこと、目的をまとめてください。

例) 本研究では、.....といった取り組みを行うことで、どのような効果があるのかを明らかにすることを目的とした。

3. 方法

※研究にどのように取り組んだのか、研究対象や具体的な方法、内容をまとめてください。

例) .....を対象に、以下の内容に取り組んだ。

① .....  
 ② .....  
 ③ .....

4. 成果・課題

※研究・実践から見えてきた成果や課題、それに対する考察等をまとめてください。研究・実践結果をまとめた表やグラフ等があれば、この欄に貼り付けてください。

例) 【成果】  
 .....といった成果が表れた。そこから.....  
 ということが考えられる。

【課題】  
 .....といった課題が見えてきた。そこから.....  
 ということが考えられる。

【結果データ】


セルブひの

⋮	⋮	⋮
---	---	---

2ページ以内に収めてください。